



# Talend Open Studio for Data Qualityリリースノート

7.1.1

# 目次

<b>Copyright</b> .....	<b>3</b>
<b>システム要件</b> .....	<b>4</b>
<b>Talend Open Studio for Data Quality: 新しい機能</b> .....	<b>5</b>
Data Quality: 新しい機能.....	5
<b>Talend Open Studio for Data Quality: バグ修正</b> .....	<b>6</b>
<b>Talend Open Studio for Data Quality: 既知の問題と制限事項</b> .....	<b>7</b>
Data Quality: 既知の問題と既知の制限事項.....	7
<b>[Documentation] (ドキュメンテーション)</b> .....	<b>9</b>
<b>欠陥と問題点のレポート</b> .....	<b>10</b>

# Copyleft

7.1.1に対応しています。以前のリリースの更新版となります。

公開日:2019年10月15日

このドキュメントの内容は公開の時点で正確なものです。

ただし、オンライン([Talend Help Center](#))で最新の更新バージョンが入手できる場合があります。

このドキュメントは、クリエイティブコモンズ公共ライセンス(CCPL)の条件の下で提供されています。

CCPLに準拠した許可事項および禁止事項の詳細は、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.0/>を参照してください。

## 商標について

TalendはTalend, Inc.の商標です。

すべてのブランド、商品名、会社名、商標、およびサービスマークは各所有者に帰属します。

## ライセンス契約

このドキュメントに記述されているソフトウェアは、Apache License、バージョン2.0 (以下「本ライセンス」という)の下でライセンスされています。本ライセンスを遵守せずに、このソフトウェアを使用することはできません。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.html>で取得できます。当該の法律による要求または書面での同意がない限り、本ライセンスの下で配布されるソフトウェアは、「現状有姿」で、明示または暗示にかかわらず、あらゆる保証あるいは条件なしで提供されます。ライセンスの下で許可および制限を適用する特定の言語のライセンスを参照してください。

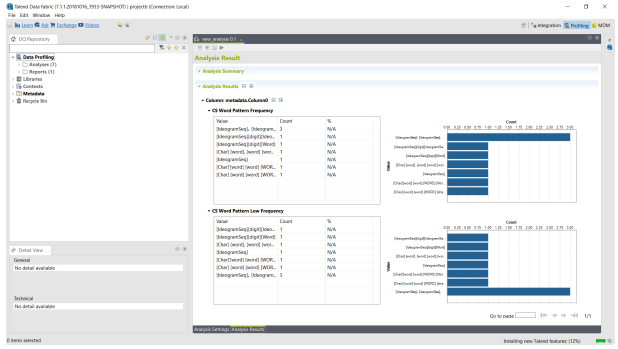
この製品には、ASMで開発されたソフトウェア、AntLR、Apache ActiveMQ、Apache Ant、Apache Axiom、Apache Axis、Apache Axis 2、Apache Chemistry、Apache Common Http Client、Apache Common Http Core、Apache Commons、Apache Commons Bcel、Apache Commons Lang、Apache Datafu、Apache Derby Database Engine and Embedded JDBC Driver、Apache Geronimo、Apache HCatalog、Apache Hadoop、Apache Hbase、Apache Hive、Apache HttpClient、Apache HttpComponents Client、Apache JAMES、Apache Log4j、Apache Neethi、Apache POI、Apache Pig、Apache Thrift、Apache Tomcat、Apache Xml-RPC、Apache Zookeeper、CSV Tools、DataNucleus、Doug Lea、Ezmorph、Google's phone number handling library、Guavaが含まれています: Java、H2 Embedded Database、およびJDBCドライバー用のGoogle Coreライブラリ、HighScale Lib、HsqlDB、JSON、JUnit、Jackson Java JSON-processor、Java API for RESTful Services、Java Universal Network Graph、Jaxb、Jaxen、Jetty、Joda-Time、Json Simple、MapDB、MetaStuff、Paracel JDBC Driver、PostgreSQL JDBC Driver、Protocol Buffers - Google's data interchange format、Resty: Java用の単純なHTTP RESTクライアント、SL4J、SL4J: Simple Logging Facade for Java、SQLite JDBC Driver、The Castor Project、The Legion of the Bouncy Castle、Woden、Xalan-J、Xerces2、XmlBeans、XmlSchema Core、atinject。各ライセンスの下でライセンスされています。

## システム要件

インストールとシステムの要件については、Talend Help Center (<http://help.talend.com>)で『Talendインストール&マイグレーションガイド』を参照して下さい。

# Talend Open Studio for Data Quality: 新しい機能

## Data Quality: 新しい機能

フィーチャー	説明
<p>Talend Studioにおける単語ベースのパターンプロファイリング</p>	<p>よりジェネリックなこのプロファイリングパターンでは、分析の精度は単語であり、文字ではありません。</p> <p>単語ベースのパターンでは、新しいデータパターンは、探索分析や検索の目的だけでなく、データのプレパレーション時にも、より目立つようになります。</p> 
<p>Talend Studioにおける日本語データのプロファイリング</p>	<p>日本語文字はProfilingパースペクティブでサポートされており、日本語文字に対するサポートのレベルはLatin文字と同等になっているほか、日本語でのデータキューレーションとデータクオリティが可能になっています。</p>
<p>国際化</p>	<p>Talend StudioのProfilingパースペクティブインターフェースが中国語に翻訳され、国際化の幅が広がりました。</p>
<p>追加のデータベースに対するサポート</p>	<p>Talendでは、Profilingパースペクティブに追加のデータベースを使用できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Denodo</li> <li>• Microsoft SQL Server 2017</li> <li>• MySQL 8.0</li> <li>• PostgreSQL 10</li> </ul>

## Talend Open Studio for Data Quality: バグ修正

新しい機能に加えて、全製品に細かな改善と重要なバグ修正が施されました。個別の問題については、バグ追跡システムで対応する変更ログを参照して下さい。

Module (モジュール)	変更ログ
Data Quality	<a href="https://jira.talendforge.org/issues/?filter=28371">https://jira.talendforge.org/issues/?filter=28371</a>

# Talend Open Studio for Data Quality: 既知の問題と制限事項

## Data Quality: 既知の問題と既知の制限事項

未解決の問題を記載した完全なリストは、JIRAバグ管理ツールを参照なさってください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=28400>

[Limitation] (制限事項)	説明
Java PSUはサポートされていません	<p>TalendはJava CPUバージョンでのみサポートされています。Java PSUではサポートされていません。</p> <p>一部のユーザーから、Talend StudioでJava PSUバージョン(jdk8_u92など)を使用したときに問題が発生したが、Java CPUバージョン(jdk8_u91など)に戻すと問題が解決したというレポートがありました。</p> <p>次も参照して下さい: <a href="http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/cpu-psu-explained-2331472.html">http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/cpu-psu-explained-2331472.html</a>。</p>

問題	対処法
Mac OS Xの新バージョンを使用しているユーザーは、Talend製品をインストールするためにGatekeeperの設定を更新しなければならない場合があります。GatekeeperはOS X 10.7.5から利用できます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>Appleアイコンをクリックし、<b>[System Preferences] (システムの環境設定)</b>をクリックします。</li> <li><b>[System Preferences] (システムの環境設定)</b>の下で、<b>[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)</b>をクリックします。</li> <li><b>[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)</b>の下で、<b>[General] (一般)</b>タブをクリックします。</li> <li><b>[Click the lock to make changes] (変更するにはロックをクリック)</b>のとなりのロックアイコンをクリックし、管理者権限のあるアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。セキュリティ設定を変更できるのは管理者のみです。</li> <li><b>[Allow apps download from] (アプリのダウンロード元として許可する)</b>の下で、<b>[Anywhere] (全て)</b>ラジオボタンをオンにして、開いたダイアログボックスで選択を確定します。</li> <li>すべてのウィンドウを閉じると、Macは[Security &amp; Privacy] (セキュリティとプライバシー)の設定を再び自動的にロックします。</li> <li>通常のインストール手順に従ってTalend Studio (または目的とするその他の実行可能ファイル)をインストールします。</li> </ol> <p>Talend-Studio-macosx-cocoa.appファイルをダブルクリックすると、インターネットからダウンロードされたアプリケーションであることを示す警告メッセージが表示されますが、<b>[Open] (開く)</b>をクリックすると、その後は中断されることなくインストールできます。 <li>インストールプロセスが完了したら、必要なら上記の手順を繰り返して、[Security &amp; Privacy] (セキュリ</li> </p>

問題	対処法
	ティとプライバシー)の設定を元の値に戻すこともできます。



# [Documentation] (ドキュメンテーション)

## Talend Help Center

Talend製品を最大限に活用する方法は、Talend Help Center <http://help.talend.com>にアクセスしてご覧いただけます。

## 未解決の問題

未解決の問題を記載した完全なリストは、JIRAバグ管理ツールを参照なさってください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=18375>

## 欠陥と問題点のレポート

有効なサポート連絡先を持つTalendの顧客として、Talendオンラインヘルプデスクをご利用いただけます。または、連絡先に記されている電話番号と電子メールアドレスを使用して、顧客サポートにお問い合わせいただけます。

多くの場合、以下の情報をご提供いただく必要があります。これは、お客様の問題を素早く診断するのに役立ちます。

- お使いの製品とバージョン(例: Talend Data Fabric 7.1.1)
- オペレーティングシステム(例: Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit))
- 使用しているJava Platform JDK / JREのバージョン(例: ORACLE JDK 1.8.0\_161)
- ログファイルおよび/またはスクリーンショット

また、テクニカルサポートチームが十分な情報に基づいて支援できるように、少なくとも以下について詳しく説明して下さい。

- 問題が発生した時点までの操作
- 想定していた結果

サポートヘルプデスクに加えて、コミュニティサポートツールもご利用いただけます。

- [Talendコミュニティ](#)。
- [Talend Bug Tracker](#)もご利用いただけます。
- 関連する契約で提供させていただいているサービスレベルアグリーメントに基づいて処理されるのは、Talendサポートヘルプデスク内のいずれかのTalendサポートチャンネルを通じて作成されたケースに限られます。